

授 業 科 目 名	北九州市のノーマライゼーション		
担 当 者 名	宮永 敬市	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1200102	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーション学部の教育目標として、年齢や障害の有無にかかわらず、住み慣れたところで、心豊かに、安心して暮らせる地域づくりに寄与することが掲げられている。本講義では地域リハビリテーション推進課に勤務する教員が、ノーマライゼーションの実現に向けた北九州市の保健・福祉の取り組みを幅広く紹介し、健康と福祉の促進について、北九州市の取り組みを現地で学ぶ。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域をとりまく現状から地域共生社会や地域包括ケアに至る経緯や役割を理解する 2. 少子高齢社会の状況及び将来予測を学習し、課題や対応策を考察する 3. 地域活動の事例を通じて、地域において自分らしく暮らし続けるために必要な行動や課題を把握するとともに、地域リハビリテーションにおける役割を理解する 		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	人口動態、少子高齢社会の状況やリハビリテーションの動きを理解する	事前：人口動態（全国、県など）、少子高齢社会の状況やその課題、リハビリテーションの動きについて調べ、予備知識を得ておくこと（90分） 事後：配布資料を読み、要点を取りまとめポートフォリオに整理すること（90分）	
2.	ノーマライゼーションの基本を理解する ※一部、グループワーク（人の捉え方）	事前：ノーマライゼーションの概念について調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえノーマライゼーションについてレポートを作成すること（90分）	
3.	地域共生社会・地域福祉の基本を理解する（1）	事前：地域共生社会・地域福祉の概念について調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえ地域共生社会・地域福祉についてレポートを作成すること（90分）	
4.	地域共生社会・地域福祉の基本を理解する（2） ※一部、グループワーク（地域生活マップの作成）	事前：地域生活マップ作成に向けて、地域の社会資源を調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえ、地域生活マップについてレポートを作成すること（90分）	
5.	地域包括ケアの基本を理解する ※一部、グループワーク	事前：地域包括ケアの概念について調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえ地域包括ケア及び事例についてレポートを作成すること（90分）	
6.	障害当事者の社会参加（当事者からのメッセージ）	事前：脊髄性筋萎縮症について調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえ脊髄性筋萎縮症の社会参加についてレポートを作成すること（90分）	

7.	地域におけるボランティア活動（健康づくり推進員）※順番の入れ替わりあり	事前：地域におけるボランティア活動（健康づくり推進員）についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：現地学習を踏まえ地域における健康づくり推進員についてレポートを作成すること（90分）
8.	地域におけるボランティア活動（食生活改善推進員）※順番の入れ替わりあり	事前：地域におけるボランティア活動（食生活改善推進員）についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：現地学習を踏まえ地域における食生活改善推進員についてレポートを作成すること（90分）
9.	現地学習予定：地域における社会福祉協議会の活動※順番の入れ替わりあり	事前：社会福祉協議会についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：現地学習を踏まえ社会福祉協議会の活動についてレポートを作成すること（90分）
10.	現地学習予定：地域における障害者の社会参加活動	事前：障害者の社会参加活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：現地学習を踏まえ障害者の社会参加活動についてレポートを作成すること（90分）
11.	現地学習予定：地域における障害者の社会参加活動	事前：障害者の社会参加活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：現地学習を踏まえ障害者の社会参加活動についてレポートを作成すること（90分）
12.	現地学習予定：身体・知的障害者更生相談所の役割	事前：身体・知的障害者更生相談所について調べておくこと（90分） 事後：講義を踏まえ身体・知的障害者更生相談所についてレポートを作成すること（90分）
13.	現地学習予定：地域共生社会における身体障害者福祉協会の役割	事前：身体障害者福祉協会についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと（90分） 事後：身体障害者福祉協会についてレポートを作成すること（90分）
14.	地域リハビリテーションについて グループワーク：地域共生社会の実現に向けてリハ職の関わり	事前：グループ発表に向けて調査した項目について整理すること（90分） 事後：グループ発表に向けてプレゼンテーションの準備を行うこと（90分）
15.	課題に関するプレゼンテーション及びディベート 講評・地域共生社会のまとめ	事前：プレゼンテーションに向けて発表内容及びプレゼン資料を調整すること（90分） 事後：プレゼンテーションの内容について良かった点、反省すべき点、他グループへの感想などを整理し、レポートを作成すること（90分）

準備学習・事後学習等についての補足説明

テーマごとに課題を整理し、プレゼンテーションの実施及びレポートの提出を課するので、事前学習及び復習並びにグループワークが必要となる。

地域活動やノーマライゼーション及び共生社会の実際の状況を確認することとなるため、事前に学習し、質問、意見等をまとめておくこと。

成績評価の方法 [評価項目と割合]		
レポート	ポートフォリオ	
50%	50%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
使用しない。		
参考書又は参考資料等		
その他 [受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて]		
配布資料は随時作成。事前、事後学習を行った資料を取りまとめポートフォリオとして提出。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
授業開始後に改めて連絡する。		

授 業 科 目 名	医療人のための教育学 I		
担 当 者 名	岡井 正義	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1200103	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業では長年小学校・中学校校長としての勤務歴を有する教員が、将来、理学療法士、作業療法士を目指す学生が、現場で出会うことが予想される患者としての子供やその保護者、患者に提供するリハビリテーションをチームで行うために医師や看護師、同僚の療法士などによりよい人間関係を築くための具体的方途を体験的に学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.理学療法士（以下、PT）、作業療法士（以下、OT）として人と関わるために大切なことを理解する。 2.患者として出会うことが予想される子供の特性について理解する。 3.PT,OT としてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付ける。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習 等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	PT、OT に求められる人間性について、現場で出会うことが予想される人との関係から考察する。	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
2.	こども理解（発達障害について）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
3.	こども理解（発達障害について）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
4.	こども理解（子ども基本法）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
5.	こども理解（人を思う心について）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
6.	基本的生活習慣（時間を大切に）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
7.	基本的生活習慣（お金を大切に）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
8.	初対面の人への挨拶	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
9.	自己・他者への気付き（上手な聴き方）	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
10.	自分の長所・短所	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
11.	自分の考え方の特徴	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
12.	別の面への気付き	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
13.	気持ちの伝え方	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
14.	顔の見えないコミュニケーション	ポートフォリオに学習の振り返りをする。（180 分）	
15.	学修を振り返り、PT、OT に必要な能力や態度についてまとめる。	振り返りのレポートを書く。（180 分）	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法 〔評価項目と割合〕			
理学療法士（以下、PT）、作業療法士（以下、OT）に求められる人間性	患者として出会うことが予想される子供の特性について理解することが	PT、OT としてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付け	

について自分なりの考えを持つことができたか。	できたか。	ることができたか。
振り返りのレポート (70%)	ポートフォリオ (20%)	授業への参加状況 (10%)
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
使用しない。		
参考書又は参考資料等		
高校生のための社会性と情動の学習 (SEL-8S)		
その他 [受講に際しての注意点、課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
授業開始後、連絡。	オフィスアワー (メールで相談してください。翌週の授業後に回答します。)	

授 業 科 目 名	医学倫理学		
担 当 者 名	石橋 敏郎	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1200012	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 [実務家教員についての特記事項含む]	<p>保健医療福祉の分野で求められているチーム医療では、異なる職種が協力して有効な保健医療サービスを提供することが求められている。そのためには職種間の対話と理解が不可欠であり、確かな知識や方法を共有しておくべきである。</p> <p>病院での臨床経験を有する教員が、医学倫理学の基礎を理解・修得できるように、総論と各論に分けて 15 講に区切り、レビュー（基礎的な情報）とケーススタディ（架空事例などの提示）の 2 つの部分の部分を参考にして講義を進めていく。</p> <p>受講する前にテキストを必ず読み、事前と事後の学習を自ら進んで取り組むように努力してください。</p>		
授業の到達目標 [学習成果]	<p>①医学倫理の歴史について、重要事例を通してその内容を理解できる。</p> <p>②医学倫理を理解する方法について、その手順（原則論・物語論・手順論）を含めて視点を理解できる。</p> <p>③医学倫理の各論では、重要な倫理的問題について、架空事例を通して具体的にその捉え方を理解できる。</p>		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	医療倫理の歴史①（古代から近代の医療倫理の変遷）	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する）（90 分） 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する（90 分）	
2.	医療倫理の歴史②（現代：患者の権利の時代へ）	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する）（90 分） 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する（90 分）	
3.	医療倫理学の方法①（基本的な概念と構造）	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する）（90 分） 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する（90 分）	
4.	医療倫理学の方法②（原則論と物語論）	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する）（90 分） 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する（90 分）	
5.	医療倫理学の方法③（手順論）	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する）（90 分） 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する（90 分）	
6.	死と喪失についてのレビュー	事前：受講内容の確認（テキストを読み、サブノート	

		に必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
7.	告知：深刻な診断を知る、それを伝えるということ	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
8.	尊厳死：最後まで生きる、その人にかかわるといふこと	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
9.	性 (セクシャリティ) について	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
10.	生殖について	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
11.	障害児の出生を「防ぐ」といふこと	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
12.	患者の権利と公共の福祉① (患者と第三者の利害の対立)	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
13.	患者の権利と公共の福祉② (自己危害と他者危害)	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
14.	医学研究と医療資源① (生体と医療資源)	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)
15.	医学研究と医療資源② (医療資源の配分と医療情報)	事前：受講内容の確認 (テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する) (90分) 事後：振り返りシートの内容を理解して暗記する (90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

受講前にテキストを読んでその内容を確認したうえでサブノートに必要事項を記入しておくこと。講義終了時に実施するサブノートに記入して授業内容を振り返ること。疑問点については積極的に質問してください。

成績評価の方法 [評価項目と割合]

定期試験

課題 (ケーススタディ) <4回>の

	提出と国家試験演習問題<2回>の取り組み	
70%	30%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
医療倫理学の方法（原則・ナラティブ・手順）第3版	宮坂道夫	医学書院
参考書又は参考資料等		
授業内容に沿ったプリント（サブノート）を事前に配布します（事前に予習を行っておくこと）。		
その他 [受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて]		
医学倫理に関する新しい情報については、メディア（新聞、HP、SNS など）等を通して常に興味を持つように努めてください。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
講義開始後に連絡します。		

授 業 科 目 名	運動学Ⅱ		
担 当 者 名	石橋 敏郎	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1200114	授 業 形 態	講義
学 年	2 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・理学療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	九 州労災病院リハビリテーション診療科での臨床経験を有する教員が、身体各部の主要関節における身体運動の特徴を捉えるために、局所的な機能解剖に基づいた各関節の運動学的・運動力学的機能を理解する。さらに、正常な機能を把握した上で、疾病などにより異常な状態になった場合の正確な捉え方と改善方法について講義する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	人間の主要な関節の機能解剖を復習しつつ、靭帯と骨格筋等の運動器の構造と機能を確実に理解して覚えること。また、その知識を基に国家試験演習問題を独力で解くことができるようになることや専門領域の評価と治療に役立つ基本的な知識を身に付けること。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	下肢帯と股関節の構造と機能①（機能解剖、骨性の指標、靭帯の特徴など）	事後：学習した範囲のテキストを読んでサブノートをまとめ、配布された振り返りシートを記入して、理解したうえで暗記する（180分）	
2.	下肢帯と股関節の構造と機能 ②（股関節運動の特徴及び運動制限の見極め方、股関節の各運動方向の特徴）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する（90分）	
3.	下肢帯と股関節の構造と機能③（股関節周囲筋の特徴など）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する（90分）	
4.	下肢帯と股関節に関する国家試験問題演習、膝関節の運動学①（機能解剖、膝関節の構造面の特徴、内側・外側半月、）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する（90分）	
5.	膝関節の構造と機能 ②（関節運動の特徴及び膝蓋骨の役割など）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する（90分）	
6.	膝関節の構造と機能 ③（膝周囲筋の特徴など）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する（90分）	
7.	膝関節に関する国家試験問題演習、足関節の運動学①（機能解剖等）	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する（90分） 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解し	

		たうえで暗記する (90分)
8.	足関節と足部の構造と機能 ② (足関節運動の特徴、下腿筋と足筋の特徴、足のアーチと足部の変形)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
9.	足関節に関する国家試験問題演習、体幹の運動学① (機能解剖、脊柱弯曲の発達過程と意義、椎間円板の特徴)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
10.	体幹の運動学② (椎間関節面の形状と運動、各椎骨レベルにおける運動の特徴、脊柱に作用する筋の役割)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
11.	体幹に関する国家試験問題演習、立位姿勢の運動学① (咀嚼筋について、安静立位姿勢と筋活動、立位姿勢の重心動揺と安定性限界など)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
12.	立位姿勢の運動学② (防御反応と姿勢戦略、立位姿勢の分析、バランス安定性の検査、異常姿勢について)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
13.	立位姿勢に関する国家試験問題演習、歩行の運動学① (歩行と運動学、歩行周期について)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
14.	歩行の運動学② (歩行の運動学的分析と運動力学的分析について)	事前：指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する (90分) 事後：配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する (90分)
15.	歩行の運動学③ (歩行時の筋活動、高齢者の歩行について)、歩行に関する国家試験問題演習	全ての振り返りシートの内容を復習、理解と暗記をして定期試験に備える (180分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

準備学習に使用するサブノートは単元毎に事前に配布し、講義終了時に次の講義で進む範囲を知らせるので、その範囲をテキストを見てできる範囲で実施しておく。

事後学習に使用する振り返りシートは講義終了時に実施して答え合わせを行う。

成績評価の方法 [評価項目と割合]

定期試験	国家試験問題演習の結果	
80%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
基礎運動学 (第6版 補訂)	中村隆一・他	医歯薬出版株式会社

参考書又は参考資料等	
筋骨格系のキネシオロジー（医歯薬出版株式会社）	
その他 【受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて】	
講義の事前学習と事後学習は必ず実施してください。講義の中で理解できない部分はそのまめにせず、積極的に質問してください。また、図書館やインターネット等を多いに活用して、運動学に関する文献や本に触れる習慣をつけてください。	
担当教員の連絡先等	
担当教員 E-mail	その他
講義開始後に連絡します。	サブノート、振り返りシートなどを忘れた場合には、講義開始前に担当教員に必ず報告に来ること。

授 業 科 目 名	臨床医学とリハビリテーション		
担 当 者 名	中島 他	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1200115	授 業 形 態	講義
学 年	2 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーションを進める上で、臨床医学領域に関心を持ち、幅広く理解することは、疾病の発症・再発・重症化の予防ならびに障害による活動制限・参加制約といった状態から生じる廃用症候群やフレイルなどを予防・改善する観点からも重要である。このため、臨床で経験する頻度が高い疾患の病態や障害像を診療科別に講義する。また、理学療法や作業療法を行う際の重要なリスク管理情報である、画像診断・検査や薬理、予防の基礎などについても講義を行なう。講師は、病院等で勤務する現役の医師、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士がオムニバス形式で行なう。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	診療科・分野別に、 1) 基礎的知識としての機能解剖を理解し、説明することができる。 2) 疾病概念や治療方法に関する知識を修得し、説明することができる。 3) 予防医療や看護業務に関する知識を修得し、説明することができる。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	泌尿器科疾患：排尿の異常・自己導尿 (九州労災病院副院長 中島先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
2.	口腔機能低下症・摂食機能障害の基礎とリハビリテーション (戸畑総合病院 石田先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
3.	耳鼻科疾患：耳鼻咽喉科領域の解剖・疾患への理解 (九州労災病院 花栗先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
4.	眼科疾患：目の機能と各疾患 (九州労災病院 森田先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
5.	臨床薬学の基礎（薬物の作用機序 薬物の体内動態 薬物相互作用） (九州栄養福祉大学 戸田先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
6.	救急医学の基礎（九州労災病院 安達先生）	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
7.	臨床薬学の基礎（薬効の个体差 薬物有害反応薬と法律） (九州栄養福祉大学 戸田先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
8.	リハビリテーション看護（褥瘡予防） (九州労災病院 久保先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	
9.	画像評価の基礎（X線、CT、DXA、マンモグラフィ等） (九州労災病院 宮副先生)	事前：講義テーマについて予習する（90分） 事後：講義内容をノートにまとめ復習する（90分）	

10.	呼吸器疾患に対するリハビリテーション：対象となる疾患と病態生理 (霧ヶ丘つだ病院 院長 津田先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
11.	画像評価の基礎 (MRI、PET、アンギオ) (九州労災病院 宮副先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
12.	呼吸器疾患に対するリハビリテーション：呼吸リハビリテーションの評価、プログラムと実際 (霧ヶ丘つだ病院 院長 津田先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
13.	がんのリハビリテーション (リハビリテーションを実施する上での基礎知識) (北九州市立医療センター 音地先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
14.	がんのリハビリテーション (リハビリテーションの実際) (北九州市立医療センター 音地先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
15.	自然災害とリハビリテーション (被災地支援活動の実際) (小倉リハビリテーション病院 赤津先生)	事前：講義テーマについて予習する (90分) 事後：講義内容をノートにまとめ復習する (90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
講義前に各单元についての関連事項を予習しておくこと。 講義後は、その日のうちに復習を行い、不明な点については各自調べるか、質問すること。		
成績評価の方法 [評価項目と割合]		
定期試験		
100%		
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
单元ごとに資料を配布する		
リハ実践テクニック 呼吸ケア (使用授業：津田先生)		
参考書又は参考資料等		
リハベーシック 薬理学・臨床薬理学		
その他 [受講に際しての注意点、課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて]		
单元別に講義の確認テストを行うことがあります。 積極的に講義に参加すること。質問があれば講義中もしくは、講義終了後に受け付けます。		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
非公開とする。		

授 業 科 目 名	作業療法学概論		
担 当 者 名	四元 孝道、青山 克実	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1220065	授 業 形 態	講義
学 年	1 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法とは何かについて、その歴史や原理について長年の臨床経験を有する実務家教員によるより具体的な作業療法を総合的・体系的に概説する。また、対象となる身体機能分野、高齢期分野、精神機能分野、発達課程分野の作業療法実践過程について理解を深め、作業療法の範囲や役割について考察する。加えて、医療人としてリハビリテーションにおける作業療法士の資質について検討する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法に興味を持ち、作業療法に関する知識を得るための努力ができる。 2. 作業療法とは何かを説明できる。 3. 「作業」とは何かを議論することができる。 4. 作業療法の評価から介入に至る作業療法過程を説明できる。 5. 4つの分野ごとの作業療法の役割と内容の概略を述べるができる。 		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	オリエンテーション：授業の進め方、授業ファイルの作成について。作業療法とは（四元）	事前：教科書 p 3-13 を読み作業療法の定義についてまとめておく 事後：ワークノートの整理	
2.	作業療法の歴史と原理（青山）	事前：教科書の p 15-25 を読み、作業療法の原理が何かを考えておく（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	
3.	リハビリテーション発祥地記念館見学（青山）	事前：リハビリテーション発祥地記念館について調べておく（90分） 事後：見学レポート作成（90分）	
4.	作業療法に関する予備知識と作業療法の実践現場（四元）	事前：教科書の p27-47 を読み、作業療法に必要な知識や作業療法士がかかわる領域を理解しておく。（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	
5.	作業の分析と治療への適用（四元）	事前：教科書の p51-72 を読み、作業分析とは何かを考え、作業の治療的適用を理解しておく（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	
6.	作業療法の理論（青山）	事前：教科書の p74-83 を読み、作業療法に関する理論の大枠を理解しておく（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	
7.	作業療法士の養成と教育（青山）	事前：教科書の p87-141 を読み、作業療法士に求められる資質を理解し、その養成課程や卒前卒後教育、日本作業療法士協会について知識を深めておく（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	
8.	作業療法の実践課程（四元）	事前：教科書の p145-164 を読み、作業療法の実践課程の大枠を理解しておく（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）	

9.	身体機能分野における作業療法の実際（四元）	事前：教科書の p169-181 を読み,身体機能分野の具体的作業療法を調べる（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
10.	精神機能分野における作業療法の実際（青山）	事前：教科書の p182-195 を読み,精神機能分野の具体的作業療法を調べる（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
11.	発達過程分野における作業療法の実際（青山）	事前：教科書の p196-211 を読み,教発達過程分野の具体的作業療法を調べる（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
12.	高齢期分野における作業療法の実際（青山）	事前：教科書の p212-227 を読み,高齢期分野の具体的作業療法を調べる.（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
13.	社会保障制度の理解（青山）	事前：教科書の p231-241 を読み,医療保険と介護保険の違いをまとめておく.（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
14.	作業療法部門の管理運営（青山）	事前：教科書の p246-269 を読み,作業療法部門の管理運営とは何かを考えておく.（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）
15.	まとめ・作業療法の現状と展望（青山）	事前：これからの作業療法、作業療法の発展について調べてくる（90分） 事後：ワークノートの整理（90分）

準備学習・事後学習等についての補足説明

指定された、事前、事後の学習内容について予習・復習を欠かさず、可能な限り疑問点を解決すること。

成績評価の方法 [評価項目と割合]

定期試験	授業ノートの完成度	課題	小テスト
40%	20%	20%	20%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
標準作業療法学 作業療法学概論 第4版	能藤真一 編集	医学書院

参考書又は参考資料等

作業療法全書 改訂第3版 第1巻 作業療法概論 日本作業療法士協会監修 杉原素子編集 協同医書出版社
作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業療法学概論 長崎重信監修 メジカルビュー社

その他 [受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて]

- ① 予習による疑問点が解決できない場合は講義中に積極的に質問すること。
- ② 意見交換や討議を行う場合は積極的に発言し,探求心をもって受講することを望みます。
- ③ 課題,小テストはフィードバック資料として返却します。事後学習や定期試験対策の参考にしてください。

担当教員の連絡先等

担当教員 E-mail	その他
講義開始後に連絡。	

授 業 科 目 名	地域作業療法学		
担 当 者 名	四元 孝道、青山 克実	実 務 家 教 員	○
科 目 コ ー ド	1220085	授 業 形 態	講義
学 年	3 年	開 講 期	2025 年度前期
単 位 数	2 単位	履 修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義では、地域作業療法の実務経験のある教員が教授する。 病気や障害があって地域でその人らしく暮らすには医療保健福祉教育の連携と多職種連携が必要である。そのために必要となる基礎知識と事例を通して関わり方のポイントについて講義し、地域で活動できる作業療法士を目指す。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 地域における作業療法の展開、実践の場と活動；地域作業療法の範囲を理解し、説明できるようになる。 2. 医療福祉介護領域ごとで実施される基礎知識を理解し、作業療法を説明できるようになる。		
授 業 計 画	準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及び必要時間		
1.	地域作業療法の基盤：地域リハビリテーションとは、地域作業療法の概念（四元）	事前：事前配布資料を通読し予習する（90分） 事後：地域作業療法の基盤と背景の理解を深める（90分）	
2.	地域作業療法を支える制度 P39～P65（四元）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：地域作業療法を支える制度の理解を深める（90分）	
3.	地域作業療法を支える社会生活支援・連携 P66～P83（四元）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：社会生活支援や多職種連携・協働の理解を深める（90分）	
4.	地域作業療法の評価の視点 P94-108（四元）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：域作業療法の評価の視点の理解を深める（90分）	
5.	住環境の改善から街づくり P109-122（四元）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：住環境の改善から街づくりの理解を深める（90分）	
6.	支援プログラムとマネジメント P123-144（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）	
7.	医療保険施設（病院：身体機能領域等）での作業療法 P155-158、P176-181（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）	
8.	医療保険施設（病院：精神機能領域等）での作業療法 P155-158、P182-188（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）	
9.	介護保険施設（老人保健施設、通所リハ等）での作業療法 P159-162、（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）	

10.	介護保険施設（訪問リハ、特別養護老人施設等）での作業療法 P159-162、（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）
11.	介護保険施設（介護予防事業、地域包括支援センター等）での作業療法 P159-162、（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）
12.	障害福祉（地域生活移行等）の作業療法 P158-159（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）
13.	教育（特別支援学校等） P164-165（青山）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）
14.	就労支援（高次脳機能・精神機能領域等） P166-167（青山） 地域において事業所の企業	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分）
15.	リスク管理（感染・急変対応等） P149-154（四元）	事前：教科書該当箇所を通読し予習する（90分） 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習（90分） 準備学習・事後学習等についての補足説明
準備学習・事後学習等についての補足説明		
小テストを実施し成績対象とします。事後の振りかえり学習を行ってください（四元）		
成績評価の方法 〔評価項目と割合〕		
定期試験	課題レポート・ワークノートの完成度	小テスト
60%	20%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準作業療法学地域作業療法第4版	小川恵子編集	医学書院
参考書又は参考資料等		
田中康之・清水順市編集：地域包括ケアにおけるPT・OTの役割,文光堂,東京,2016		
その他 〔受講に際しての注意点、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
担当教員 E-mail	その他	
講義開始後に連絡。		